

令和4年第5回久米島町議会定例会一般質問

令和4年6月29日～7月1日

令和4年第5回6月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	東江 浩明	1. 新型コロナウイルス感染状況と今後の取組方針について	令和4年6月29日(水)
		2. 防災対応対策の現状取組と今後予定等について	
2	翁長 学	1. 水質保全対策事業について	令和4年6月29日(水)
		2. 比屋定幼稚園園舎の有効利用について	
3	盛本 實	1. 6本の基本姿勢の中における重点施策の取り組みについて	令和4年6月29日(水)
		2. 政策的予算について	
		3. 「町民視点での町政運営」について	
		4. 時世の節目における独創的政策の取り組みについて	
4	真栄平 建正	1. 施政方針について	令和4年6月29日(水)
5	喜久里 猛	1. 過去の要望事項からすべて前向きの回答を得ているが今一度、回答を頂きたい	令和4年6月29日(水)
		2. キバナノヒメユリ保存について	
		3. 農産物肥料の大幅値上げについて	
		4. 新しい伝統行事の創設について	
		5. 町職員の意識改革について	
		6. 町道一時停止線について	

令和4年第5回6月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	幸地 猛	1.事務引継ぎについて	令和4年6月30日(木)
		2. 所信表明について	
		3. イーフビーチの維持管理について(渚百選)	
2	富永 肇	1. 人口減少について	令和4年6月30日(木)
		2.スポーツ関連、イベントの取り組みについて	
		3.商工、観光産業の活性化について	
		4.学校教育、学習環境について	
3	新垣 幸子	1. 歯科診療所の開設について	令和4年6月30日(木)
		2. 町長の所信表明の中にある職員の意識改革について	
		3. ホタル館の役割の重要性と自然財産の保護・保全について	
		4.「久米島町動植物島外持ち出し禁止条例」の制定について	
4	棚原 哲也	1-①深層水取水量の拡大について	令和4年6月30日(木)
		1-②. 学校給食センターの整備について	
		1-③. ごみ焼却施設クリーンセンターの整備について	
		1-④. 認定こども園び整備について	
		2. イーフビーチ、奥武島海域の保全について	
5	喜久村 等	1. 認定農業者について	令和4年6月30日(木)
		2. 農村公園について	

3. 農林水産業の活性化について

令和4年第5回6月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	宇江原 総清	1. 鳥島射爆撃場の早期返還と政治	令和4年7月1日(金)
		2. 自然再生と国立公園構想	
		3. バーデハウスの閉館理由と今後の対策	
2	赤嶺 秀徳	1. 歯科診療所について	令和4年7月1日(金)
		2. 高速船導入について	
		3. パークゴルフ場について	

令和4年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
11	東江 浩明	1. 新型コロナウイルス感染状況と今後の取組方針について	①ワクチン接種の現状確認と今後、各分野等対応策について伺う。 ②観光関連事業者への影響状況と今後のイベント予定等々について伺う。	町長	① 新型コロナウイルスワクチン接種の現状につきましては、6月7日現在、 1回目 接種件数6,341件、接種率82.87% 2回目 接種件数6,232件、接種率81.44% 3回目 接種件数4,756件、接種率62.15% となっております。 引き続き、個別接種の実施と4回目接種にむけて医療機関と協議を行っています。 ② これまで、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、緊急事態宣言やまん延防止措置が発出されるなど、様々な行動が抑制されてきました。本町の観光入域者数も令和2年度は対前年度比45.6%減の54,783人、令和3年度は対前年度比1.1%減の54,206人となりコロナ前に比較して2年連続でほぼ半減している状況であることから、観光関連事業者は多大な影響を受けているものと認識しております。コロナ禍からの回復には、まず、交付金を活用した地域商品券の発行など各種事業を実施し地域経済の立て直しを図りながら、観光客を呼び戻す誘客対策を展開してまいります。過去2年間中止しました、久米島マラソン大会や町まつりは、実行委員会において、感染対策をとりながら実施することが決定し、現在準備を進めております。	①福祉課 ②商工観光課

11	東江 浩明	2.防災対応策の現状取組と今後予定等について	<p>①豪雨災害対策の現状と今後の予定対応等々について伺う。</p> <p>②河川からの赤土流出状況等について伺う。</p>	町長	<p>① 豪雨災害対策については、久米島町地域防災計画において、災害予防に係る計画や風水害等の災害に対応した応急対策計画、災害復旧・復旧計画等を策定しており、これらの計画に基づき、ハード面の対策、防災訓練や防災計画の普及・啓発などに取り組んでおります。</p> <p>② 赤土流出の大部分は、農地が発生源となっている場合が多く、その対策として久米島赤土流出防止対策協議会では、農家の協力のもと、ベチバーの植付けや防止板の設置を行っており、また、水質保全対策事業(耕土流出防止型)において、沈砂池設置を実施しております。</p>	<p>①総務課</p> <p>・建設課</p> <p>②建設課</p> <p>・産業振興課</p>
12	翁長 学	1. 水質保全対策事業について	<p>宇江城地域では、水質保全対策事業が行われていて第1地区、第2地区、第3地区は事業が終わっている。これから、第四地区が予定されていて、地域説明会が行われました。第4地区の事業の流れと、第1, 2, 3地区の成果を伺う。</p> <p>①赤土の流れ</p> <p>②地権者の意見の取り入れ。(出入口、畑灌の整備)</p>	町長	<p>県の担当部署へ問い合わせたところ、次のとおり回答がありましたので、報告します。</p> <p>①久米島町における赤土等流出防止対策においては、「久米島町赤土等流出防止対策マスタープラン」に基づき、計画的に整備を進めてきたところです。具体的には、赤土流出防止対策として効果が得られる沈砂池、勾配抑制等の対策を講じ、これらの施設では高い流出防止効果があると実証されております。そのため、引き続き、当該施設等の整備を計画的に進めてまいります。</p> <p>②久米島町第1～3地区、また、現在計画中の久米島町第4地区で行う水質保全対策事業では、赤土流出を防止する工種が主目的です。畑灌の整備は別事業となるため、新たに事業を計画することになります。</p>	建設課

12	翁長 学	2. 比屋定幼稚園園舎の有効利用について	<p>本町の幼稚園が統廃合されて比屋定幼稚園園舎が利用されていない。そこで地域の活動に利用できないか伺う。</p> <p>①各字の行われているサロン ②学童 ③デイサービス(宅老所)</p>	教育長	<p>平成28年度の幼稚園統廃合により閉園となった4園については、久米島町公共施設等総合管理計画において廃止する施設としておりますが、地域のニーズや他課事業等での活用について検討することは可能です。</p> <p>ご質問の利用については、事業毎に認可基準が異なるため、活用に際して認可基準を満たすことが前提となります。また、学校運営に支障がないか、事故等に伴う責任の所在について、教育委員会や利用する主管課及び学校との事前調整が必要となります。</p>	教育課
2	盛本 實	1. 6本の基本姿勢の中における重点施策の取り組みについて	<p>今回、6本の基本方針を掲げていますが、内容的には前任の政策を踏襲している感は拭えません。その施政方針の中で最も重点的に取り組もうとしている施策はないのか伺います。</p>	町長	<p>私は4月の選挙で公約として6本の基本政策と付随する政策を掲げてまいりました。私の施政方針としては、全ての世代が生き活きと暮らせる「夢つむぐ島」づくりとしております。この考えは、第2次久米島町総合計画に沿ったまちづくりを推進していくというものです。</p> <p>そこには44本の施策の柱が掲げられており、全て重要だと考えております。住民のニーズは多様化しており、ライフステージに応じて町民それぞれ様々な課題や悩みを有していることと思います。全ての事業の取り組みを改善していくことが、私の政策方針に繋がるものと考えております。</p> <p>多くの課題を抱えている中でも特に重要課題として考えているのが、人口減少への歯止めと海洋深層水取水量拡大の実現だと考えております。</p>	企画財政課
2	盛本 實	2. 政策的予算について	<p>今議会において政策的予算の計上はあるのか伺います。</p>	町長	<p>今議会に提案しております一般会計補正予算第1号では、3億6千万円の増額を計上しております。</p> <p>喫緊に取り組むべきものとし、長引く新型コロナの影響による町民及び事業者への生活支援を優先してまいります。また、世界情勢の影響を受けた物価高騰に対する支援についても計上したところです。</p>	企画財政課

2	盛本 實	3.「町民視点での町政運営」について	冒頭で、職員のさらなる意識改革を進め、一步進んだ「町民視点での町政運営」を図ると謳っていますが「町民視点の町政運営」とは具体的にはどのような事ですか。またどのような手法で進めていくのか伺います。	町長	職員の仕事に対する心構えとして、町民の立場に立って、町民のために何ができるのか、何をすべきかを念頭に置き、職務を遂行してもらいたいと考えています。そのためには職員一人一人が地域行事に積極的に参加し、町民からいろいろな話を聞いて政策に生かすことが重要だと思います。新型コロナウイルスの感染状況をみながらになりますが、行政懇談会や各種団体との意見交換会などを開催し、広聴活動にも取り組んでまいります。	総務課
2	盛本 實	4. 時世の節目における独創的政策の取り組みについて	今年、沖縄復帰50周年、本町においては町政20周年とそれに関わる行事、それから元沖縄県知事大田昌秀氏の顕彰事業、3小学校の周年事業、そして去る4月の町長選挙に伴う首脳陣の交代等々と、これまで類を見ない歴史的節目の年になりました。 町長においては、この機に乗じて独創的な政策を打ち出す計画はないのか伺います。	町長	現時点においては前町政の事業を継続して取り組みますが、今後においては町民の意見を聞きながら選挙公約に掲げた事業や第2次久米島町総合計画の各種施策の推進に取り組んでまいりたいと考えております。	総務課

10	真栄平 建正	1.所信表明について	<p>1.本町の一番の課題は人口減少問題であるとしております。また、「島を離れる」理由がありそれらを解決するための施策を総合的、多角的に連携する必要があるとしており、これらの要因を再確認するとしておりますが、今までどのようなことが要因であったと考えていたのか伺います。</p> <p>2.早急に取り組まなければいけないものとして、歯科診療所の早期再開、海洋深層水の取水量の拡大、学校給食センターの整備、ごみ焼却施設の整備、認定保育園の整備、バーデハウス久米島の再開としておりますが、進捗状況と今後のスケジュールについて伺います。</p> <p>3.福祉の充実で島で出産ができる環境づくりを検討するとあります。出産ができる環境とはどういうことでしょうか。また現在、島で出産ができないのはどのような理由からか、伺います。</p>	町長	<p>1 本町の人口減少は、1990年をピークに減少を続けており、その主な要因は転出が転入を上回る社会減少となっております。出生数は減少傾向にありましたが、令和3年には74名となっております。死亡数はやや増加傾向にありまして、高齢者が増えたことによる高齢者の死亡数の増加が主な要因と推測しております。</p> <p>2 仲里歯科診療所の再開につきましては、現在、実施設計業務に入っており、建物の状況に応じて作業が進むと思われませんが、改修にあたりアスベスト除去などの付帯工事で時間を要する可能性があります。また、医療機器の選定等も進めており、仕様が整い次第、備品購入の手続きを行います。</p> <p>認定子ども園につきましては、令和7年度供用開始として進めています。今年度は、実施設計における施設規模の再検討を行います。令和5年度実施設計業務委託、令和6年度建築工事を予定しております。</p> <p>海洋深層水事業につきましては、令和3年度より防衛省の補助事業を活用し、全体計画を策定中です。令和3年度に実施した海域調査結果を基に、令和4年度に漁業用施設や取水管施設などの検討を行い、全体計画を策定いたします。本事業の実施には高額な事業費を必要とすることから、国、県との協議等を行い、事業採択に取り組んでまいります。</p>	<p>1企画財政課</p> <p>2・3福祉課</p> <p>・プロジェクト推進課</p>
----	--------	------------	--	----	--	---

			<p>学校給食センターの整備については、これまでPFI手法による検討を行ってきましたが、見通せないとの結果となりました。今後は、公設民営にて令和9年度の供用開始へ向けて取り組んでまいります。</p> <p>ごみ焼却施設整備予定地にある旧火葬場の解体設計業務の契約を令和4年6月1日に締結し、その後10月頃から3月末にかけて解体工事を行います。本体工事に関しましては、令和5年1月頃の契約後、令和8年4月の施設稼働に向けて取り組んでまいります。</p> <p>バーデハウス久米島に関しましては、現在、民間活力導入による再生に向けた取り組みとして、去る4月8日に民間企業による事業提案の公募を開始しましたが、新型コロナによる先行きの不透明感や不安定な世界情勢などが影響し、事業提案の応募に至らない状況となっています。引き続き、民間企業や関係者からの聞き取り調査や諸条件等の整理を行い、再公募に向けて取り組みを進めてまいります。</p> <p>3 「出産ができる環境づくり」とは、島にいても妊婦健診や産後ケア、分娩にかかる経済的な支援など、子育て世代の要望に沿った事業を引き続き模索検討していくという意味で申し上げました。</p> <p>また現在、本町で分娩ができない理由につきましては、公立久米島病院の産婦人科は非常設診療科となっており、産婦人科医師が常駐していないため、分娩に対応できる医療体制となっていません。そのため、母子の健康安全を第一に、分娩については島外で行ってます。</p>	<ul style="list-style-type: none">・給食センター・環境保全課・商工観光課
--	--	--	--	---

9	喜久里 猛	1. 過去の要望事項からすべて前向きな回答を得ているが今一度、回答を頂きたい	<p>①字兼城石平線の改修工事について</p> <p>②首里城復元の久米の赤土について</p> <p>③にぶちの森・旧日本軍陣地跡の社会教育利用について</p> <p>④仲泊交番周辺の防犯灯及びふくぎの枝打ちについて</p>	<p>①・④ 町長</p> <p>②・③ 教育長</p>	<p>① 以前ご質問いただいたとおり、農道単独での整備事業メニューは現在ありません。現在宇江城地区で実施している「農地耕作条件改善事業」で事業実施の可能性がございます。</p> <p>② 昨年11月、沖縄県及び沖縄総合事務局の首里城復元整備推進室の担当者が来島し、前回と同様に、同じ場所から試験用に赤土を採取しております。その後は、塗装試験、暴露試験を経て、顔料の精製に取りかかると伺っております。</p> <p>③ ニブチ壕については、記録として残すことと、その利活用についてのご質問でした。記録として残すことにつきましては、令和2年度刊行「久米島町史資料編 I 久米島の戦争記録」に久米島の戦跡として掲載しております。利活用については、平和学習会での活用を考えておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施ができていない状況です。今後も、現地見学も含めた社会教育での活用について検討していきます。</p> <p>④ 当該路線は、県道242号線となっており県へ外灯設置の要望を行っております。現場を確認したところ仲泊交番から交差点の間(鳥島漁港向け)は外灯が設置されておらず暗い箇所があることから、地域と協議を行い設置に向けて調整していきたいと思っております。</p> <p>仲泊交番周辺のふくぎの枝打ちについては、未だ着手できておりません。早期に実施できるよう関係者と調整し取り組んでまいります。</p>	<p>①建設課</p> <p>②博物館</p> <p>③教育課</p> <p>④総務課</p> <p>・建設課</p>
9	喜久里 猛	2. キバナノヒメユリ保存について	絶滅危惧種に指定されている、キバナノヒメユリは数人の町民が大切に保存しているが、行政としても取り組む必要がないか。	教育長	<p>キバナノヒメユリは、県内では久米島・沖縄本島・渡名喜島でのみ、生息が確認されている数少ない貴重な植物です。本町における生息状況は3か所、生息場所が知られていましたが、2005年までに2か所で生息が確認できなくなり、昨年度、最後に確認できた1か所を調査しましたが確認できませんでした。今後も調査を継続し、野生状態での生息が確認できれば、天然記念物として検討したいと考えています。</p>	博物館

9	喜久里 猛	3. 農産物肥料の大幅値上げについて	久米島町でもJA久米島支店が6月頃、500～600円の間で大幅値上げを予定しているが、国の施策は何月に適用されるか。具体的な案は出ているか。	町長	JAおきなわにおいては、6月末まで販売価格を据え置くとしています。化学肥料の高騰分について国は7月の参議院選挙後にも編成される補正予算案に盛り込まれるとの報道があります。具体的な内容は示されておりませんが、国や県の動向も踏まえて対応したいと考えております。	産業振興課
9	喜久里 猛	4. 新しい伝統行事の創設について	久米島が両村合併して20年を向かえるが、これを期に町を代表する行事の創設はできないか。	町長	地域の行事が果たす役割は非常に大きなものであると考えており、地域活性化に繋がる行事の創設については、検討してまいります。	総務課
9	喜久里 猛	5. 町職員の意識改革について	所信表明の中で、「町民の立場に立って、町民のために何ができるか、或いは、何をすべきか」「地域行事に積極的に参加し、町民からいろんな話をきくこと」とあるが、職員がどこまで理解しているか疑問である。これまで、職員を県や国へ出向させているが、民間に出向させる考えはないか。	町長	職員研修につきましては、民間企業との研修は行っておりませんが、民間の人材育成が効果的で、提携できる企業があれば取り組んでまいりたいと考えております。	総務課
9	喜久里 猛	6. 町道一時停止線について	町道の一時停止位置(線)は、適正な位置に引かれているか。	町長	停止線の位置については、道路改良工事等で設置する際は、交通安全施設の設計基準及び交通規制基準を基に配置することとしています。現場状況によっては、見通しの悪い箇所もある可能性があるかと思えます。	建設課

13	幸地 猛	1.事務引継ぎについて	前町長との事務引き継ぎ事項について、処分未了又は未着手の事項、将来企画又は検討すべき事項について伺います。	町長	事務引継につきましては、各課で取り纏めた未処理事項、未着手事項及び実施方法意見、将来企画すべき事項及びこれに対する方法意見、懸案事項等の引継ぎを受けておりますので、今後の業務遂行に活かしてまいります。	総務課
13	幸地 猛	2. 所信表明について	<p>1. 農林水産業の活性化について</p> <p>①和牛産地の有利性を生かすこととは</p> <p>②くめじま牛のブランド化について</p> <p>③販路拡大に努めることについて</p> <p>④母牛の増牛及び品質の向上の取り組みについて</p> <p>⑤第12回全国和牛能力共進会(鹿児島県)への出品について、これまでの取り組みと次回大会への取り組みについて</p> <p>2. 高速船導入について</p> <p>高速船導入については、航空路線の拡充を含めて可能性を検討してまいりますとありますが、その取り組みについて伺います。</p>	町長	<p>1.</p> <p>① 本町は牧草地として他の地域に比べ面積が多く、粗飼料(牧草類)を島外から購入することなく、自給粗飼料生産できることが有利性と捉えており、更なる面積拡大や頭数を増やすことで、生産農家の所得向上に繋げてまいります。</p> <p>② 沖縄県のブランド牛の産地として、石垣牛の他に、もとぶ牛、伊江牛等の沖縄各地の子牛の産地がブランド牛を確立しています。本町においても、新たな特産品の創出とPRにもつながる為、ブランド牛確立の可能性を関係機関や有識者と検討しながら摸索してまいります。</p> <p>③ JAと連携し、県内のセリ市場に出向き購買者へPRをすることや生産農家及び販売頭数を増やすことで、久米島のセリへ新たな購買者が参入できるよう努めます。</p> <p>④ 現在、沖縄振興特別推進交付金等を活用し、導入牛事業や保留牛事業を行うことで、母牛の増牛及び品質の向上に取り組んでおり、今後も継続してまいります。</p> <p>⑤ 全国和牛能力共進会については、本町での候補として1頭出品予定でしたが、体高オーバーのため県の候補牛として選ばれておりません。選定基準に沖縄県が指定する種雄牛に限定されるため、沖縄県家畜改良協会を中心に出品に向けた勉強会等の取組を行っております。</p> <p>次回大会への取り組みについては、久米島和牛改良組合やJA等関係機関と連携し、課題等を検証しながら出品に向けて取り組んでまいります。</p> <p>2. 去る3月に開催した高速船導入に関する検討委員会において、航路事業者が実施した航路改善計画の調査報告書をもとに検討した結果、ジェットフォイルについては維持管理費が高額で、事業としての採算性が見込めない結果と</p>	<p>1. 産業振興課</p> <p>2. プロジェクト推進課</p>

					<p>なっており、導入は厳しい状況であります。</p> <p>今後は入域観光客等の増加を図る観点から、高速船だけではなく、航空機材の大型化や路線拡充も含め、関係事業者及び関係課と情報交換や意見交換を行ってまいります。</p>	
13	幸地 猛	3. イーフビーチの維持管理について(渚百選)	<p>1.渚百選にふさわしいイーフビーチの維持管理について、漂着物を除去するには予算措置をして定期的に取り組む必要があると考えますが。</p> <p>2.ビーチクリーナーの活用について継続して実施されていますか、伺います。</p>	町長	<p>1. イーフビーチの維持管理、漂着物の除去につきましては、主に海開きの前後に観光協会の呼びかけやボランティアによる取り組みが行われておりますが、除去してもまた漂着するなどいちごっこの状況です。関係者からは、議員のご提案のとおり定期的に漂着物を除去する仕組みを構築する必要性を訴える声もございますので、関係課で協議をすすめてまいります。</p> <p>2. ビーチクリーナーにつきましては、令和元年までイーフビーチホテル前や東屋付近に堆積した砂の移動と併せて活用しておりました。しかしながら、砂を移動させた後の台風で住宅側に砂の飛散量が増えるなどの状況もあり、その対策がみいだせず令和2年度からは実施しておりません。引き続き対策を検討してまいります。</p>	<p>・商工観光課</p> <p>・建設課</p>

3	富永 肇	1. 人口減少について	<p>人口減少の課題は本町だけではなく全国的な問題である。これまでも様々な取り組みを行ってきましたが、効果と検証を行ったか。今後の人口増減の傾向と対策は。</p>	町長	<p>人口減少を検証する方法として、国立社会保障・人口問題研究所の推計に基づく予測値と、実数値を比較する方法をとっております。令和2年に行われた国勢調査の結果と比較すると、推計値7,180人に対し、実数値7,192人となっており、人口減少に歯止めがかかっていないと考えております。</p> <p>今後の傾向としては、2045年には4,665人との推計となっており老年人口も2030年をピークに減少していくと見込まれています。</p> <p>人口減少対策は、すぐに結果が出るものではなく、分析、検証を続け、効果的な施策を講じていく必要があります。全国的には、交流人口、関係人口といった定住をしなくてもその地域とのつながりを意識した取り組みが主流となりつつあります。</p>	企画財政課
3	富永 肇	2. スポーツ関連、イベントの取り組みについて	<p>①スポーツ(運動)施設の整備と新たな施設の取り組みは。</p> <p>②スポーツイベント及びキャンプや大会の経済効果は大きい。積極的な大会等の誘致の取り組みは。</p> <p>③町民への健康増進(町主催の大会)の取り組みを伺います。</p>	町長	<p>① 新たなスポーツ施設の整備に関しましては、キャンプ誘致等を進めていく中で、避けては通れない課題ではありますが、総合的な判断が必要となりますので、検討してまいります。</p> <p>② 過去2年間、恒例で実施されてきたマラソンやプロ野球等のキャンプ等はコロナ禍で中止となり、経済的な影響が大きいことを実感しております。まずはこれまで行ってきた大会等を確実に再開させ、誘致できる大会等についてはできる限り取り込んでまいります。</p> <p>③ 新型コロナウイルスの感染状況を注視し、関係課や体育協会などの関係団体と連携しながら検討してまいります。</p>	<p>①環境保全課</p> <p>②商工観光課</p> <p>③福祉課</p>
3	富永 肇	3. 商工、観光産業の活性化について	<p>チーム久米島による観光振興の推進とありますが、コロナの影響は大きく、従来のような観光業はで脆弱なことが露呈しました。コロナの終息が見えない状況の中、経済の立て直しとして具体的な対策を講じ、アフターコロナに備えるか伺います。</p>	町長	<p>チーム久米島による観光振興につきましては、コロナ禍でなかなか思うような連携がとれていないのが現状ですが、引き続き様々な主体が連携し島の有する様々な魅力的な要素を観光に活かせるよう取り組んでまいります。また、コロナ禍からの回復には、まず、交付金を活用した地域商品券の発行など各種事業を実施し地域経済の立て直しを図りながら、観光客を呼び戻す誘客対策を展開してまいります。</p>	商工観光課

3	富永 肇	4.学校教育、学習環境について	<p>①本町の学校施設、ほぼ全てに老朽化が著しい状況であり耐震補強工事も進めているが、危険箇所も多くみられ安心安全な学習環境ではありません。改善の対応を伺います。</p> <p>②本町の学級編成(複式学級)の状況と学校再編(小学校)について、どのような見解を持っているか伺います。</p>	教育長	<p>① 学校施設については、久米島町公共施設等総合管理計画に基づき、耐震基準を満たしていない施設の早急な耐震化完了を重点課題として取り組んでおり、施設の修繕については、学校からの要望に適宜対応しております。</p> <p>② 今年度本町の小学校については、6校のうち3校に4つの複式学級が設置されており、それ以外は全て単式学級となっております。学校教育においては、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力しあい、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばすことが重要であり、適正な規模の確保が望まれます。 本町においては、学校の小規模化に伴う教育上の諸課題の顕在化が懸念されます。教育的視点から、本町における学校の適正規模・適正配置について早急に検討していく必要があると考えております。</p>	教育課
7	新垣 幸子	1. 歯科診療所の開設について	<p>(1) 仲里歯科診療所の耐力度調査の結果について伺う</p> <p>(2) 令和4年中の開業を目指していますが、現在の進捗状況について伺う。</p> <p>(3) 今後、基本設計、実施設計、改修工事、医療機器の選定発注や開業の手続き及び検査の流れとなりますが、それらのことについて、いつまでに実施するのか伺う。</p>	町長	<p>(1) 耐力度調査の結果、使用可能と判断されました。</p> <p>(2) 令和4年度中の開設に向けて取り組んでいますが、改修工事にあたりアスベスト除去などの付帯工事で時間を要する可能性があります。</p> <p>(3) 現在、実施設計を開始しましたので、建物の状況に応じて作業が進むと思われます。同時に医療機器の選定等も進めており、仕様が整い次第、備品購入の手続きを行います。開業手続きについては、開業者である歯科医師が進めることとなっています。</p>	福祉課

7	新垣 幸子	2. 町長の所信表明 の中にある職員の意 識改革について	<p>(1)職員の仕事に対する心構えとして、「町民の立場に立って、町民のために何ができるか、或いは何をすべきか」そして、「地域行事に積極的に参加し町民からいろんな話を聞くこと」を念頭に置き、職務を遂行してもらいたい。とあるが、どのように取り組みをするのか伺う。</p> <p>(2)職員のさらなる意識改革について、具体的に伺う。</p>	町長	<p>(1) 職員に対しては、あらゆる機会を通して周知・徹底に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>(2) 職員の意識改革につきましては、町民の意見を聞いて職務遂行することが重要であると考えており、そのためには創意工夫からはじめていくことを念頭に、職員研修や他自治体の手法なども学びながら取り組んでいきたいと思えます。</p>	総務課
---	-------	------------------------------------	--	----	---	-----

7	新垣 幸子	3. ホタル館の役割の重要性と自然財産の保護・保全について	<p>持続可能な島づくりを目指すためには、久米島ホタル館やホタルの会の役割は、ますます重要になってくると察します。</p> <p>(1) 緑豊かな自然環境を守るために必要なことは。</p> <p>①ホタルレンジャー活動や学校の出前授業を行う。</p> <p>②自然生態系を調査し、保護・保全する。</p> <p>③自然環境を知ってもらうために、エコガイドを行う。</p> <p>が、あげられる。大きな役割を果たしているホタル館やホタルの会について、予算や行政の関りが必要であるが、どのように考えているか伺う。あわせて、後継者育成についても伺う。</p> <p>(2) 自然財産のクメジマボタルやキクザトサワヘビの保護・保全についてどのように考えていますか。</p> <p>(3) 国立公園構想について、具体的にどのように考えていますか。</p>	(3) 町長 (1)・(2) 教育長	<p>(1) ホタル館は、令和2年より久米島ホタルの会に指定管理してもらっているところですが、平成12年の開館以来、一貫してホタルをとりまく環境が大事だということで活動してきております。自然環境の保全についても、社会的に「持続可能な開発目標」が標榜されるなど、その意識は高まってきており、これまでのホタル館の活動もこれに合致するものと考えております。</p> <p>後継者育成については、今後ホタル館の運営に直結する問題として、指定管理団体とも意見交換を重ねて行きたいと思っております。</p> <p>(2) クメジマボタル及びキクザトサワヘビについては、沖縄県文化財保護条例により天然記念物に指定されており、その保護が図られているところです。そして昨年度、環境省においては種の保存法に基づき、これまでの宇江城岳キクザトサワヘビ生息地保護区に加え、アーラ岳一帯が生息地保護区に追加されるなど、その重要性が更に高まってきているものと認識しています。このようなことから、これまでの調査成果をもとに各種計画において生息地が守られるよう留意する必要があると考えています。そして、これから町民はじめ一人でも多くの皆様にその希少価値を訴えて行くことが重要だと思います。</p> <p>(3) 国立公園については、自然公園法に基づき環境大臣が指定を行います。環境省へは本町の構想の要望を伝えられているところですが、国立公園化への調査、計画は環境省が実施することとなっております。引き続き、国及び沖縄県とも連携を図り、取り組んでまいります。</p>	(1)・(2)博物館 (3)環境保全課
7	新垣 幸子	4. 「久米島町動植物島外持ち出し禁止条例」の制定について	<p>前回の再質問の際、「この条例制定後に条例を根拠にしたパトロールや輸送機関の対応を想定しています。」とありましたので、早めの制定を要望したいと考えています。実施時期と進捗状況を伺います。あわせて、規則の制定についても伺います。</p>	町長	<p>久米島町動植物島外持ち出し禁止の条例制定に向けた進捗状況といたしましては、環境省からいただいた基本的な案を精査し、さらに博物館との協議を重ね、最終段階まで詰めており、早めの条例制定と規則の制定に向けて取り組んでまいります。</p>	環境保全課

8	棚原 哲也	1.所信表明で早急に 取り組むとしている公 約から ①深層水取水量の拡大 について	海域、陸域含めた調査の進捗状 況及び揚水施設の整備につ いて伺う。	町長	令和3年度の海域等の調査は完了しておりますが、令和4年度も一部海域調査を継続いたします。これらの調査結果を基に、漁業用施設や取水管施設などの検討を行い、全体計画を策定いたします。 本事業の実施には高額な事業費を必要とすることから、国、県との協議等を行い、事業採択に取組んでまいります。	プロジェクト推進課
8	棚原 哲也	②学校給食センター の整備について	整備用地及び整備方法(民活) か、着手及び完成時期につ いて。	教育長	整備用地は、具志川農村環境改善センターの南側を予定しております。整備方法については、公設民営にて令和9年度の供用開始に向けて取り組んでまいります。	給食センター
8	棚原 哲也	③ごみ焼却施設ク リーンセンターの整備 について	着手及び完成時期、予算につ いて。	町長	ごみ焼却施設整備予定地にある旧火葬場の解体設計業務を令和4年6月1日に契約を締結し、その後10月頃から3月末にかけて解体工事を行います。本体工事に関しましては、令和5年1月頃の契約後、令和8年4月の施設稼働に向けて取り組んでまいります。予算につきましては本体工事を含めた総額で約51億円を予定しております。	環境保全課
8	棚原 哲也	④認定こども園の整 備について	整備方法及び完成時期につ いて	町長	認定こども園につきましては、令和7年度供用開始として進めています。整備計画に基づき、仲里幼稚園と中央保育所を統合する方向で進めています。今年度は、実施設計における施設規模の再検討を行います。令和5年度実施設計業務委託、令和6年度建築工事を予定しております。	福祉課
8	棚原 哲也	2. イーフビーチ、奥 武島海域の保全につ いて	砂の浸食及び砂州の移動により、 一部海域の陸地化及びビーチの環 境が悪化している。対策を早急にと る必要がある。今後の取組方針を 伺う。	町長	イーフビーチ海浜については、地域との連携によりハマヒルガオの植付によって一定の効果がみられるものの問題解決には至っておりません。 また、奥武島については、砂の移動により陸地化や浸食箇所もあり早急な対応が必要であると考えておりますので、関係機関への要請を行っていきたいと思います。	・商工観光課 ・建設課

1	喜久村 等	1. 認定農業者について	<p>認定農業者を増やすため質問します。</p> <p>①本町の認定農業者になるためには、どのような規定があるのか伺います。また、本町の認定農業者は何人ですか。</p> <p>②沖縄県全体の市、町、村に対して、どのくらいの位置にありますか。認定農業者の規定と人数に対してです。</p> <p>③本町の認定農業者の推薦の方法はどのように行っていますか。</p>	町長	<p>① 農業経営開始後5年を経過し、年間所得、年間労働時間、作付面積の現状と目標等を記載した経営改善計画を作成し、久米島町基本構想で定められた目標との整合を図り、達成が見込めるのか判断し認定農業者となれます。また、本町の認定農業者は、令和2年度実績で法人を含む37経営体となっています。</p> <p>② 沖縄県内で規定や人数に対して11番目の位置にあります。</p> <p>③ 申請書及び農業経営改善計画書を町へ提出された後に農業改良普及員、JA職員、経営改善推進員で構成される担い手協議会にて審査して決定しています。</p>	産業振興課
1	喜久村 等	2. 農村公園について	<p>①字根農村公園の管理は字字根で管理しているが、年2回の草刈り作業を行っているが、年2回の草刈りでは草がのびすぎるため、字が2回の草刈りの間に町が2回の草刈りはできないか伺う。</p> <p>②契約書については、どのような契約になっているか伺います。</p>	町長	<p>① 島内には農村公園が15箇所あり、各地域で管理しているところですが。今後においても各地域で管理していけるよう調整していきたいと考えております。</p> <p>② 契約書については、地域集会施設等管理運営協定書を平成29年4月に締結し農村公園についても管理しているところですが。</p>	建設課
1	喜久村 等	3. 農林水産業の活性化について	<p>所信表明の中から農林水産業の活性化について伺います。花卉、イモ類、野菜類の増産とありますが、付加価値の高い新規作物の導入または、ビニールハウスの導入も取り入れたらどうでしょうか。</p>	町長	<p>高付加価値作物に取り組む農家も徐々に増加しており、将来的に生産拡大が見込まれ、島の活性化に繋がるような農作物で、ハウス栽培に適したものについては、ビニールハウスの導入等を含め補助事業を活用した農家支援を行ってまいります。</p>	産業振興課

5	宇江原 総清	1. 鳥島射爆撃場の早期返還と政治	<p>(1) 鳥島射爆撃場の放射性物質の汚染危険実態を濃度の高い区域をバンドで開示した米公文書をイギリスのジャーナリスト、ジョン・ミッチェル氏が沖縄タイムスに掲載した。町長はこのアメリカの公文書を認めるのか。そして、島が放射性物質で汚染されている実態をどうとらえているか。</p> <p>(2) バイデン大統領は、台湾有事はアメリカも軍事関与すると言っている。日本政府もアメリカと歩調をとると言っている。嘉手納弾薬庫に40万発保管されている劣化ウラン弾を島での演習や本戦に打ち込まれ、使用される可能性が高い。町当局としては、これをどう止めるのか。</p> <p>(3) 台湾有事に備えて政府は、奄美から与那国までの琉球弧にミサイル基地の建設又は計画している。久米島へのミサイル基地が計画された場合、前町長は備えさせないと議会で答弁した。町長はどう決意しているか。</p> <p>(4) 中国の習近平は、台湾を中国に合併すると、国際社会に公言。中国が日本、アメリカ、台湾と戦争になった場合、町民をどう保護するのか。但し、私はアメリカは武器の供与のみか、初戦で身を引くと考えているが、この場合町民をどう保護するのか。</p>	町長	<p>(1) 公文書につきましては、関係機関に事実関係を照会していますが、現時点で確認できておりません。放射性物質につきましては、国は平成9年から平成14年に行った鳥島並びに久米島の陸域及び周辺海域における環境調査の結果、劣化ウランの影響は認められないことが確認されたとして、自然環境や住民の健康への影響がないと町及び町民に対して報告を行っております。また、平成15年度以降は、久米島の陸域で放射能調査を行っておりますが、人体に影響を与える結果はでておりません。</p> <p>(2) 国防は国の専権事項であり、答弁は差し控えさせていただきますが、万が一にも有事が発生しないよう国において不断の外交努力を行うべきと考えております。</p> <p>(3) 仮にミサイル等の配備が計画された場合には、さらなる負担の増加につながり、町民の理解も得られないと考えることから、配備については断固反対します。</p> <p>(4) 武力攻撃から町民の生命身体及び財産を保護するために策定している久米島町国民保護計画に基づき、情報収集や避難対策などについて取り組んでまいります。</p>	総務課

5	宇江原 総清	2. 自然再生と国立公園構想	<p>(1) 銭田川の少し上流から県道89号線までの間、やってはならない三面コンクリートの工事がやられている。この工法は川の生物多様を破壊し、海をも枯らす愚の骨頂だ。この件で私は抗議のため、県南部農林土木所長、班長、主任技師と面談した。抗議の内容は何故、三面コンクリートにしたのか、との私の質問に対し、○住宅地に近いこと ○地権者の同意が得られない との回答であった。私はその回答に対し反論として、ウソとだましの行政はするな。憲法及び法律を遵守すると宣誓した公務員がコンプライアンスを破るとはどういう事か。銭田川の所管は県であるが、住んでいるのは我々住民だ。その事を忘れるな。法に規定されているとおり、多様な住民の意見を聞いてほしい。県は河川等の工事計画の際は我々にも相談してほしい。と言った。なお面談の際、本町建設課長も同席していた。</p> <p>このことから、町長も前町長と同じく、ウソとだましの行政を引き継ぐのか、伺う。</p> <p>(2) 町長、自然再生を進める事で、国立公園認定を容易にし、建設業界も国のダイレクトな予算を取ることができる。この方策を考えているのか伺う。また、三面コンクリートは海を枯らす加えてウミガメが異常発生しているという。その対策を伺う。</p>	町長	<p>(1) 銭田地区については、土地改良法に基づく水利施設整備事業により、降雨時の氾濫により農作物被害、土壌流失、民家の浸水被害を抑制する目的で排水施設を整備しております。今後も事業の早期完了に向けて県との連携を図っていききたいと考えております。</p> <p>(2) 国立公園については、自然公園法に基づき環境大臣が指定しています。要件に合致するかどうかは環境省が調査を行うこととなっておりますので、今後においても連携して取り組んでいきたいと考えます。自然再生については、各事業において十分に環境に配慮した形で推進していきたいと考えております。ウミガメの異常発生についても被害状況が分からない状況ですので、関係機関と連携し状況把握に努めていききたいと考えております。</p>	<p>(1) 建設課</p> <p>(2) 環境保全課</p>

5	宇江原 総清	3・バーデハウスの閉館理由と今後の対策	町長が副町長のと看、社長としてバーデハウスを経営してきた。何故、行き詰まりになったのか。そして、10年程前から機械室が故障し修理費に充てたと聞いたが経緯はどうか。また、本件バーデハウスの売却を北朝鮮出身の事業者に売却しようとしたと聞くがその事実はどうか。	町長	バーデハウス久米島の経営について、本町と民間企業が出資して設立した第三セクター（株）オーランドによって経営されてきました。経営状況に関しましては、開館当初から厳しい状況が続き、町からの指定管理料や健康づくり補助金に頼らざるを得ない状況が続いておりました。その主な要因は当初の需要予測が過大であったことが、令和元年から令和2年において行われた「久米島町第三セクター等経営評価委員会」にて指摘、報告されています。また、機械室等の修繕に関しましては、町と株オーランドで締結していた「海洋深層水温浴施設の管理に関する基本協定書」で定められた管理施設の改修等負担に関する基準に基づき実施しておりました。なお、ご質問にございます事業者へ売却しようとした事実はございません。	商工観光課
4	赤嶺 秀徳	1. 歯科診療所について	歯科診療所開設の進捗状況について伺う。	町長	仲里歯科診療所の再開につきましては、耐力度調査において現施設が利用可能と判断されましたので、現在は実施設計業務に入っており、建物の状況に応じて作業が進むと思われますが、改修にあたりアスベスト除去などの付帯工事で時間を要する可能性があります。また、医療機器の選定等も進めており、仕様が整い次第、備品購入の手続きを行います。開業手続きについては、開業者である歯科医師が進めることとなっています。	福祉課
4	赤嶺 秀徳	2. 高速船導入について	高速船導入についての当局の見解を伺う。	町長	去る3月に開催した高速船導入に関する検討委員会において、航路事業者が実施した航路改善計画の調査報告書をもとに検討した結果、ジェットフォイルについては維持管理費が高額で、事業としての採算性が見込めない結果となっており、導入は厳しい状況であります。 今後は入域観光客等の増加を図る観点から、高速船だけではなく、航空機材の大型化や路線拡充も含め、幅広く検討してまいります。	プロジェクト推進課
4	赤嶺 秀徳	3. パークゴルフ場について	パークゴルフ場利用者から最近のパークゴルフ場は整備が行き届いていない、との苦情がある。職員の管理指導がどのように行われているか伺う。	町長	パークゴルフ場につきましては、オープンから約10年を経過する中でコース内外に若干の劣化がみられる箇所もありますが、職員は適正管理を心がけており、今後は専門業者等の意見も取り入れ、利用者が満足できるコース管理を行います。	環境保全課